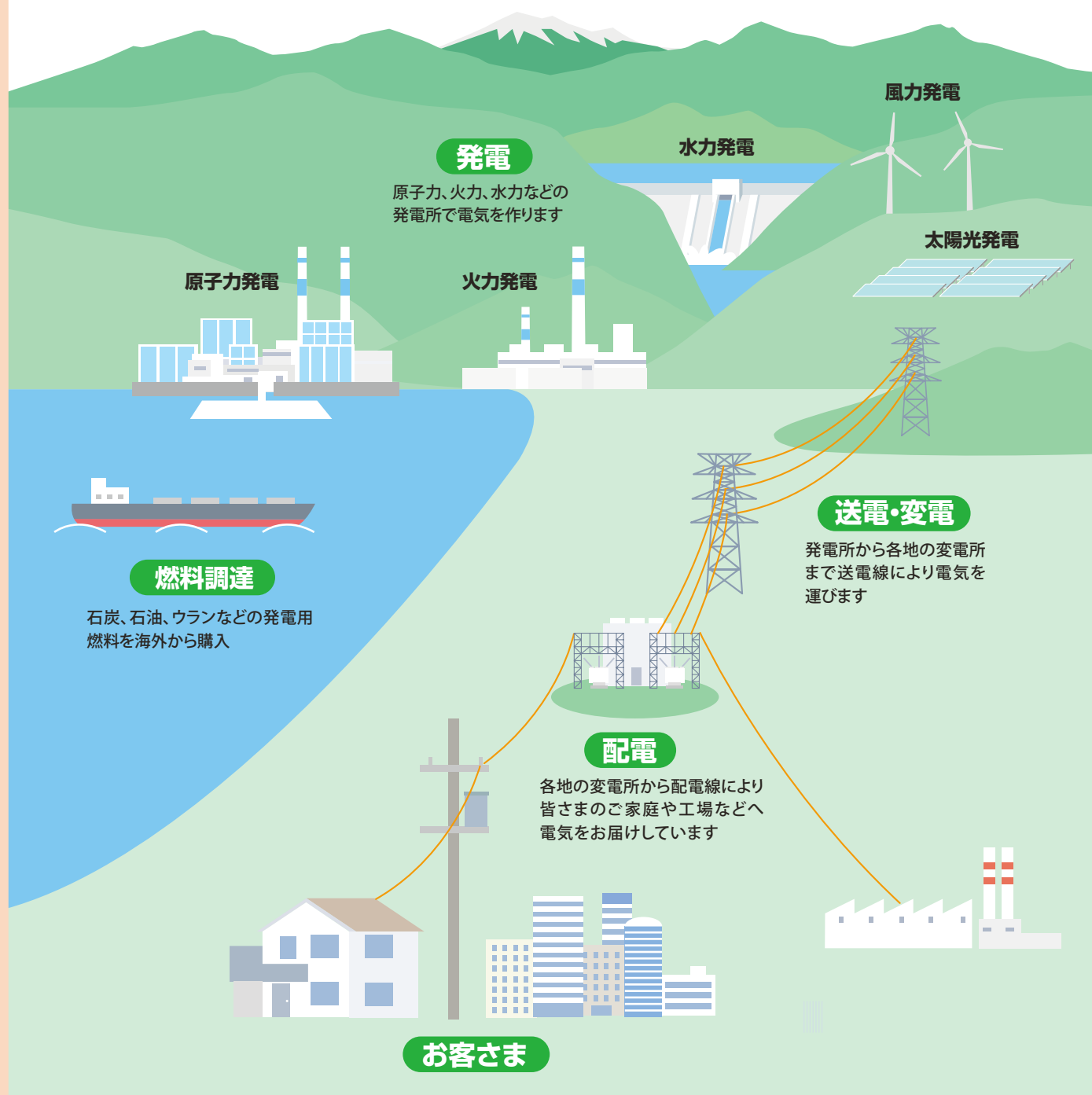


フォーカス  
FOCUS

# 電気を安定的にお届けするための グループ一体となった取組み

## お客さまに電気が届くまで

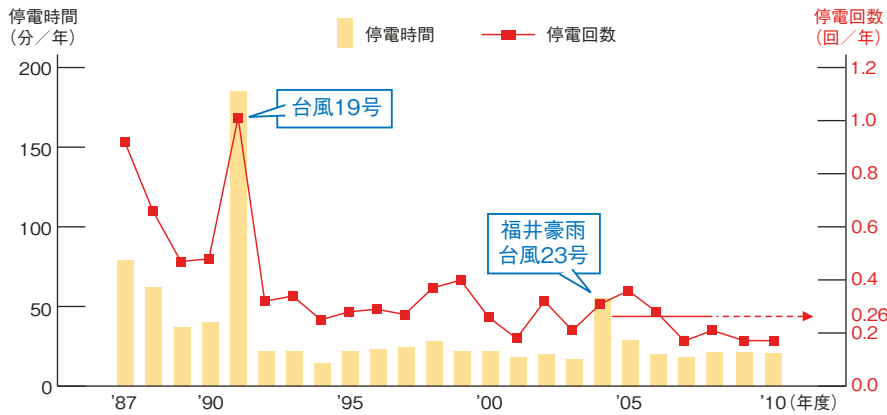
お客さまへ電気を安全・安定的にお届けすることが北陸電力グループの最大の使命です。そのため、発電用の燃料調達や発電所の運転、流通設備（送電・変電・配電）の保守・運用など、お客さまのもとに電気が届くまでのさまざまな現場で、業務を確実に遂行する地道な取組みを行っています。





お客さま一戸あたりの停電回数0.26回/年程度(供給信頼度目標)を維持し、高品質な電気をお届けしてまいります。

●お客さま一戸あたりの年間停電時間・停電回数の推移



## 燃料調達

石炭、石油、ウランなどの発電用燃料を安定確保するとともに、経済性に配慮して購入しています

### 燃料の安定確保

昨今の燃料価格の大幅かつ急激な変動や、中国・インド等の新興国を中心としたエネルギー需要の高まりによる需給逼迫など、燃料の調達環境は厳しい状況にあります。こうしたなか、電力供給に不可欠な燃料(石炭・石油・ウラン)の調達については、経済性を求めながらも安定確保に取り組んでいます。

### 石炭受入れ1億トン到達

北陸電力は、富山新港、敦賀、七尾大田の3石炭火力発電所を運営しており、1984年に石炭の受入れを開始して以来、2011年3月の受入れをもって累計受入量が1億トンに到達いたしました。



北陸電力専用船「北陸丸」

## VOICE 従業員の声

### 石炭の安定確保が私の使命

私は、火力発電用石炭の調達業務に携わり、主に石炭の輸送業務を担当しています。



当社の石炭は、オーストラリア、インドネシア、中国から輸入していますが、天候や景気変動など様々な要因により、石炭火力の稼働状況が日々変化する中、タイミングよく石炭船を配船することに毎日頭を悩ませています。

海外の石炭会社や商社、船会社と連携を密にとりながら、石炭産出国の政情や積地の天候、価格動向などの情報を収集し、安定的かつ経済的に購入できるような努力をしています。

必要な時期に必要な石炭を発電所に届けることが、電力の安定供給につながり、地域を支えているのだという気持ちで取り組んでいます。

北陸電力 燃料部 燃料購買チーム / 社 浦 里香  
(7月に経理部へ異動)

# 発電

安全かつ安定的に電気を作っています

## 発電部門の業務内容

火力・原子力・水力のそれぞれの発電所において、お客さまにお使いいただく電気を、安全かつ安定的に発電しています。

火力・原子力発電所の中央制御室では、ボイラー、蒸気タービン、発電機など多くの機器を24時間体制で監視し、さらに1日に数回の巡視点検を行うことで異常の早期発見や事故の未然防止に努めています。

また、水力発電所では、気象状況や出水状況を適切に把握した設備運用を行うとともに、ダム放流時には警報やパトロールを実施するなど、周辺地域の皆さまの安全確保に注力しています。

## VOICE 従業員の声



### マイプラント意識を持って作業に取り組んでいます

私は、志賀原子力発電所で主に計測設備の点検・保守業務に従事しています。発電所には、温度や圧力、流量、水位などを測るたくさんの計測設備があり、いずれも原子炉の運転・制御と安全保護上たいへん重要なものです。自分に与えられた役割をしっかりと認識し、これらの設備が常に正常に動作するよう日々の作業に取り組んでいます。

これからも「TEAM SHIKA」の一員としてマイプラント意識を持って、志賀原子力発電所の安全・安定運転に貢献してまいります。

北陸発電工事 志賀事業所 電気計測課／瀬川 和則

## 現場技術力の向上

運転技術力の維持向上のために、OJT\*による実務教育を実施するとともに、運転訓練シミュレータを活用した訓練を行っています。シミュレータでは、起動・停止操作の動作確認のほか、事故時対応訓練も実施し、緊急時に備えています。

また、グループ会社・協力事業者との協働体制を構築し、一体となった技術力強化・品質管理に努めています。

\*OJT：On the Job Trainingの略。職場での実務を通じて行う教育訓練。



火力シミュレータによる事故時対応訓練



敦賀火力発電所



有峰ダムでの現場技術指導

## VOICE 従業員の声

### 技術マスターとして技術継承にも取り組んでいます

私は、火力発電所の三交代勤務で運転操作・監視などの運転業務に携わっており、技術マスターとして後進への技術継承も行っています。日頃からチームのメンバーには、現場を見る・知る大切さを教え、始業および終業時のミーティングでは、その日の業務に対する助言やフォローアップを繰り返し行っています。私自身も若手の手本となるべく自己研鑽に励みながら、技術指導を通じて現場技術力の向上を図り、発電所の安全・安定運転に努めています。



北陸電力 七尾大田火力発電所 発電環境課  
／小森 貢

# 送電・変電

発電所から各地の変電所まで  
電気を運びます

## 送電・変電部門の業務内容

各発電所で作られた電気は、送電線や変電所を通り、お客さままで運ばれます。送電・変電部門では、送電線や変電所で構成される設備を、良好な状態に保つため、日々の巡視や点検で確認するとともに、設備故障発生時には迅速に対応できるよう、常に備えています。

また、電気の流れを監視する中央給電指令所や4カ所の総合制御所では、電圧や周波数の変動が少ない高品質な電気を維持するため、刻々と変わる電力需要に合わせて、24時間体制で、各発電所の出力調整を行い、電力システムの監視や制御等の業務にあたっています。これに加え、事故時や作業時の送電線の切替えを行い、電力の安定供給に努めています。



送電部門保守技能競技会



送電線巡視による樹木離隔距離の確認

## VOICE 従業員の声

### 送電線を守るのは私たちの使命です

私は、送電線の保守管理業務を担当しています。送電線の保守というと大きな鉄塔に昇って行う作業を思い浮かべるかと思います。鉄塔上での作業も大切ですが、最も大切なことは普段の巡視です。巡視ではどんなに険しい山岳地帯に建っている鉄塔にも必ず足を運び、設備の異常だけではなく、周囲状況の変化や電線の線下状況にも目を配っています。送電線は私たちで守るという使命感のもと、お客さまに安定して電気をお届けできるよう日々の業務にあたっています。



北陸電力 高岡支社電力部 送電課 / 西村 拓也  
(7月に富山支店へ異動)

## 現場技術力の向上

経験豊富な従業員の指導のもと、事故復旧や日常点検の技術・技能の向上を目指して、各種研修設備を使った実践さながらの訓練を行っています。これは、現場技術力の向上に加え、技術継承も狙いとしています。

また、万一の設備故障発生による停電の早期復旧を目的として、移動変圧器(非常用の変圧器)等の復旧資機材を、管内各所に配備するなどの取組みも強化しています。



移動変圧器設営研修

## VOICE 従業員の声

### 技術力とチームワークの向上を図っています



私は、変電設備の保守業務に携わっています。2年前、会社の技能認定制度でS級技能マイスターに認定され、後進への技術継承にも積極的に取り組んでいます。

日々の現場経験から学ぶことはたくさんあり、若手従業員には、知識や経験を自分から進んで求めていくことの大切さを教えています。

現場での作業はチームを組んで行っているため、チームの技術力の向上に加え、チームワークも大切にしています。今後とも安全を最優先に、「電力の安定供給」に貢献できるよう取り組んでいきます。

北電テクノサービス 富山支店 / 杉谷 秀彰

## 配電

お客さまのご家庭や工場まで、  
配電線を通して電気をお届けしています

### 配電部門の業務内容

配電部門では、各地の変電所からお客さまのもとに電気をお届けするための配電線や、柱上変圧器などの配電設備の管理を行っています。お客さまと接する技術部門として、電気のご使用に関する工事や、故障対応を24時間体制で行うほか、配電設備の工事や定期的な巡視・点検などを行い、電気の安定供給に努めています。また、万一の停電事故発生時には、迅速な復旧作業にあたっています。



配電線工事現場の安全/パトロール

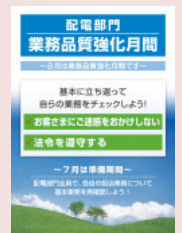
### 「業務品質強化月間」の実施

配電部門では、8月を「業務品質強化月間」と設定し、部門全体が共通意識を持って、基本業務について総点検を実施しています。

「お客さまにご迷惑をおかけしない」「法令を遵守する」を基本テーマに、各職場において品質管理強化が必要な項目を自ら設定し、同じ失敗を繰り返さないという意識のもと、業務品質の向上・強化に取り組んでいます。



トラブル事例を題材にした職場討議



ポスター

### 現場技術力の向上

若年社員や中堅社員を対象とした工事技能の教育を行うとともに、毎年「配電工事安全技能大会」を開催し、日頃習得した工事技能を競い合うことで技術力の向上を図っています。

また、自然災害への対応力強化のため、事故復旧訓練や非常災害実働訓練を実施しています。



配電工事安全技能大会

## VOICE

従業員の声



### やりがいをもって業務に取り組んでいます

私は、お客さまの電気の使用量を計測する計量装置（メーター）に関わる業務を担当しています。計量装置業務は電気料金に直接影響するため、ミスが許されない仕事ですが、その分やりがいをもって業務に取り組んでいます。

設計・施工・検査の各工程においてチェックを怠らず、安全最優先で業務にあたっています。また、お客さまと接する機会が多いため、安心して電気をお使いいただけるよう、誠意をもって丁寧な対話を心掛けています。

北陸電力 丹南支社 営業部 配電課/村井 和美

## VOICE

従業員の声



### お客さまのニーズを踏まえた作業計画の作成に努めています

私は、入社以来、電気をお客さまのもとへ送り届ける配電設備の新設や保守に携わってきました。平成23年3月からは、作業の手配を行う作業長として現場での経験を生かし業務に励んでいます。

停電を伴う工事の際には、お客さまにできるだけご迷惑をおかけしないように、工事範囲のお客さまには必ず声を掛けてご了解を得るとともに、お客さまのニーズを踏まえた作業計画の作成に努めております。また、日頃から部下には、工事の品質面での指導も行い、より良い配電設備の形成に努めております。

北陸電気工事 福井配電工事センター 配電課/笹岡 正典

# 自然災害等に備えた対応力強化

## 自然災害等への設備の備え

### ◆根切り伐採による事故の未然防止

着雪、強風等による配電線や送電線への樹木接触・倒壊を未然に防止するため、樹木の根切り伐採を進めています。



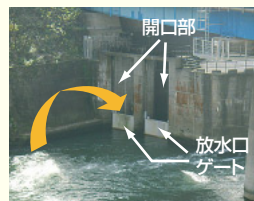
樹木の根切り伐採

### ◆水害による水力発電所の設備損壊の防止

近年の水害の発生状況を踏まえ、洪水時の水力発電所周辺の想定河川水位の見直しを行うとともに、計画的に設備被害の防止対策を進めています。

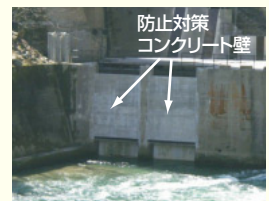
#### 《発電所放水口の改修事例》

改修前



洪水により河川水位が上昇し放水口ゲート上部の開口部から水や土砂等が逆流する

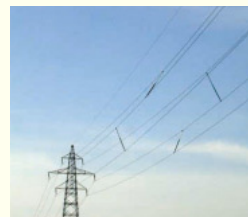
改修後



開口部を封鎖し逆流防止を図る

### ◆送電線の雪害・雷害対策

送電線の雪害対策用の相間スペーサの設置や雷害対策用の避雷装置の設置など、自然災害に備えた設備強化を計画的に実施しています。



相間スペーサ



送電用避雷装置

## 実践的な訓練の実施

自然災害等の発生に備え、迅速かつ的確な対応ができるように、防災、災害・事故復旧などの実践的な訓練を実施しています。



積雪時の配電線、送電線事故に備える雪中訓練



火力発電所の自衛消防訓練

## 全社防災訓練の実施／自治体防災訓練への参加

非常災害に全社一体となつて的確に対応できるよう、毎年全社防災訓練を実施しています。2010年度は、北陸電力管内でM7.2の大地震が発生したとの想定で行い、連絡体制や各組織における要員確保状況などの確認、重大な停電事故時における情報連絡の点検を行いました。

また、各地の自治体で開催される防災訓練に参加し、大規模災害での復旧訓練等を行うなど、ライフラインを担う事業者として、地域との連携体制の強化に努めています。



福井県総合防災訓練に参加

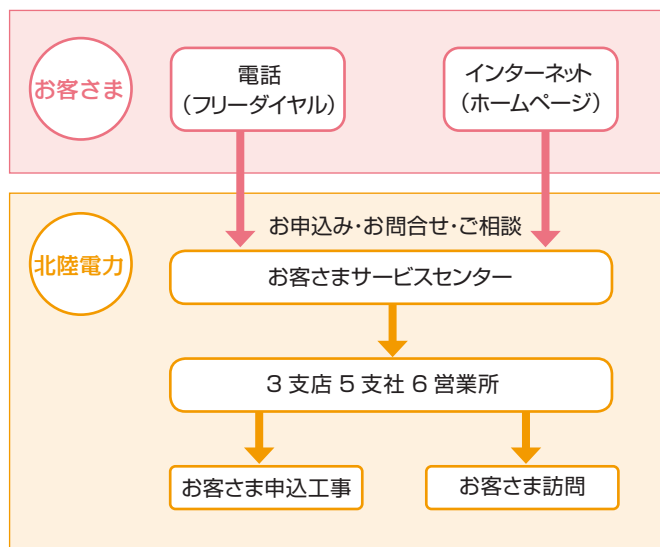
## お客さまの声の反映

お客さまの視点に立ち、満足いただける商品・サービスの提供に努めています

### お客さまサービスの向上

年間約46万件に達するお客さまからの、電話によるお申込受付、お問合せ、ご相談について、24時間体制で「お客さまサービスセンター」が承っています。同センターでは迅速できめ細かなサービスに努めています。

#### ■お客さまサービスセンターの体制



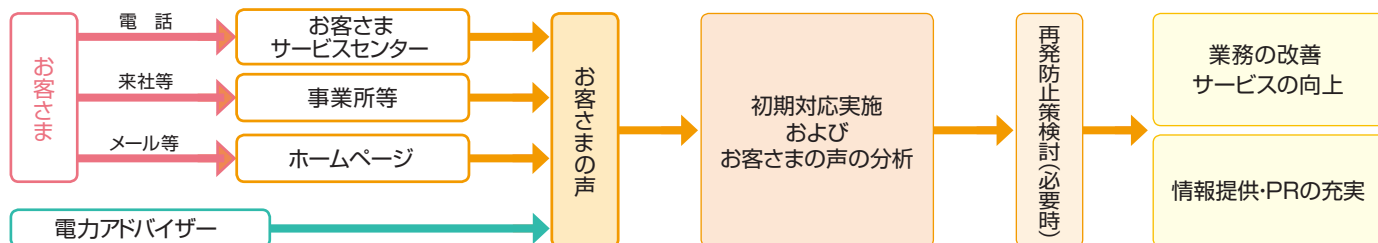
また、各事業所では、「お客さまサービスセンター」で承った、電気に関するお申込み・ご相談への対応や、電力量計の検針などのお客さまに身近な業務を行っています。

ご満足いただけるサービスを提供するため、各種教育を実施し、常にお客さま対応能力の向上を図っています。

### ブルーエコー (お客さまの声) システム

お客さまからの苦情・要望に迅速・的確に対応するため、「ブルーエコーシステム」を構築し、サービス向上に努めています。また抜本的な対策が必要な場合には、対応策を全社に水平展開し、再発防止に努めています。

#### ■ブルーエコーシステム

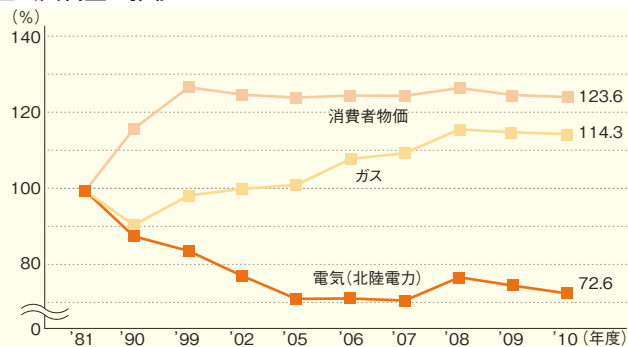


お客さまサービスセンター

### 低廉な料金水準の維持

安全最優先を大前提とした効率的な設備更新・保守や、継続的・効率的な業務改善・改革に取り組むなど、低廉な料金水準の維持に努めています。

#### ■公共料金の推移



\*1981年の水準を100とする。電気(北陸電力)以外は、総務省「消費者物価指数年報」等による。電気(北陸電力)は、年度の電気料金収入(電灯料・電力料)を販売電力量で除した値をグラフ化。

### お客さまの声による改善例

作業停電の際に事前にお知らせしているハガキについて、お客さまからのお問い合わせが多い停電時の家電製品の取扱いに関する留意点を掲載するとともに、停電日時等の文字を大きくして見やすくする改善を行いました。また、見開き圧着タイプのハガキに変更することによりセキュリティ面の改善も行いました。

## お客さまのお役に立つ提案活動・サービスの提供

省エネ・省CO<sub>2</sub>提案をはじめ、お客さまのお役に立つ活動に取り組んでいます

### 省エネ・省CO<sub>2</sub>提案活動 (関連P43~44)

一般のご家庭用には、エネルギー消費量が少なく、CO<sub>2</sub>の排出量を大幅に削減できる「エコキュート」をはじめとした省エネに優れた機器をお奨めしています。業務用・産業用のお客さまには、ヒートポンプ等の高効率機器をご提案しています。

さらに省エネや節電のご要望にお応えするため、商工コンサル担当が現場調査を行い、オフィスのエネルギー消費で大きなウエイトを占める照明や空調設備はもとより、工場で一般的に利用されているポンプ・コンプレッサー設備、蒸気・ボイラー設備などについて計測データを基に的確なコンサルティング活動を行っています。



工場での省エネコンサルティングの様子

また、お客さま設備に合ったヒートポンプ等の高効率機器のご提案も行っていきます。

社内では、省エネ・省CO<sub>2</sub>コンサルコンクールを開催し、担当者のコンサルティング能力向上を図っています。

## VOICE 従業員の声

### お客さま第一で「省エネ・省CO<sub>2</sub>コンサル活動」の実施

地球温暖化対策が急務である中、未曾有の震災を受け、企業の省エネルギーに対する取組みは国民全体のさらなる期待となっています。この状況下で、お客さまへエネルギーの有効活用をご提案する私たちの活動は、ますます重要性を増していると感じています。省エネ性・環境性・経済性・生産性を観点に計測や調査を基本としたデータ分析のもとに、お客さま第一で前向きに取り組んでいくことを心がけ、日々の技術力向上にも努めます。



北陸電力 丹南支社 営業部営業担当  
商工コンサル担当 / 村上 卓郎

お客さま満足の向上

お客さまの声の反映 / お客さまのお役に立つ提案活動・サービスの提供

### お客さまへの電気の一層効率的な利用のご提案と、迅速な情報発信への取組み

オフィス・工場などのお客さまには、省エネ情報やセミナー案内を掲載したメールマガジン「eね!サポート」の発信や、お客さまの事業所に訪問させていただき出前セミナーをはじめとした省エネセミナーを開催し、最新の話題や情報をお届けしています。

メールマガジン「eね!サポート」は、月一回定期的に登録いただいたメールアドレスに無料で配信しています。次のURLからご登録できます。



メールマガジン「eね!サポート」

[http://www.rikuden.co.jp/cleaneco/A\\_mimg.html](http://www.rikuden.co.jp/cleaneco/A_mimg.html)

セミナーでは、製造業、病院・福祉施設、建築関係の企業など様々な分野のお客さまを対象としてお客さまニーズにお応えする省エネ手法や省エネ機器の紹介を行っています。



省エネセミナーの様子

### お客さま設備の雷害対策コンサルティング

雷研究などを通して得られた技術や知識をお客さま設備の問題解決に役立てていただくため、雷被害や設備の状況を調査してお客さまニーズに合った雷害対策のコンサルティングを行っています。また、ホームページにリアルタイムの落雷情報や雷害対策事例を掲載するなど雷に関する情報提供も行っています。2010年度は65件のお客さまからのご相談にお応えしました。



ホームページ(雷情報)

<http://www.rikuden.co.jp/kaminari/>

## 地域との共生

地域社会の一員として、地域との共生に向けた活動に取り組んでいます

### 地域行事への参加

北陸電力グループは、地域の各種イベント・祭礼に積極的に参加・支援しています。富山まつり、じゃんこい魚津まつり、金沢百万石まつりや敦賀まつりなどに、多くの従業員が参加して祭礼行事を盛り上げています。



富山まつり



敦賀まつり

## VOICE 従業員の声

### 「じゃんこい魚津まつり」に参加して

魚津支社に転勤して、今回初めて「じゃんこい魚津まつり」の一環で行われる「せり込み蝶六踊り街流し」に参加しました。蝶が舞うように扇子をクルクルと回すのが特徴で、港町らしい元気な踊りです。本番に向け練習を重ねました。当日、北陸電力チームは、はじめは、やや緊張し遠慮がちの踊りだったかもしれませんが、他チームとの流れに乗り無事終了することに満足感を味わいました。翌朝、地元の方から「昨日踊ったね」と声をかけられ、魚津市民の温かさを肌で感じ、参加して良かったと思いました。



北陸電力 魚津支社営業部  
お客さまサービス課／長谷川 佳子

### 従業員会活動

従業員の親睦を目的に、近隣に居住する従業員で構成する従業員会では清掃奉仕活動をはじめとしたさまざまな活動を行っています。

2010年度は延べ27回、約580名が地元行事への参加や道路のゴミ拾い、海岸の美化清掃等に取り組みました。



志賀町従業員会による清掃活動(志賀ロードパーク)

### 「こども110番の車」運動

北陸電力グループは、社用車に「こども110番の車」ステッカーを貼り、子どもたちが助けを求めてきた場合などに一時的な保護や関係機関への通報を行う「こども110番の車」運動に取り組んでいます。北陸電力を含めたグループ会社9社(約1,570台)が運動に参加しています。



(株)北陸電力リビングサービス社用車



「こども110番の車」ステッカー

## 地域文化の振興支援

お客さまからの日ごろのご愛顧に感謝するとともに、地域における芸術・文化事業の振興と発展を目的として、「オーケストラ・アンサンブル金沢」「福井交響楽団」等の地域を代表する音楽団体とともにコンサートを開催しています。

また2009年10月から、「北陸電力会館 本多の森ホール(旧石川厚生年金会館)」を運営しています。舞台体験機会の提供などを通して、地域の皆さまから親しまれ、地域活性化や文化・芸術活動の振興のお役に立てる運営を目指しています。



ふれあいコンサート

### 「本多の森ホール」の体験利用

2010年度から、個人、団体を問わず、楽器演奏、合唱、演劇などの練習を、ホールの舞台を使って、気軽に低料金で体験できる日を設け、ご利用いただいています。

## 地域スポーツの振興支援

北陸電力ハンドボール部「ブルーサンダー」によるハンドボール教室や、日本バスケットボールリーグ2部クラブチーム「石川ブルースパークス」と連携したバスケットボール教室等の開催を通じ、子どもたちの健全な育成に努めています。これらのスポーツ教室や当社主催の大会には2010年度にあわせて約2,000名の子どもたちが参加しました。

2011年度は、新たな取組みとして、サッカーJ2クラブチームとして活躍している「カタレ富山」と連携したサッカー教室を開催しており、延べ9,000名程度の子どもたちの参加を見込んでいます。

また、引き続き「カタレ富山」や、「石川ブルースパークス」への支援を通じて北陸地域のスポーツ振興に努めています。

ほくでん  
カタレサッカー教室

ほくでんミニバスケットボール教室

## VOICE 従業員の声

パワー・アンド・IT  
／山口 伸宏

### バレーボールの指導を通して恩返しをしたい

とやま国体で、悲願の全国制覇を達成できたので、微力ながら恩返しをしたいと思い、未来を担う中学生にバレーボールを指導しながら、県協会の役員もしています。指導にあたっては、競技技術より、「靴を揃える」「きちんと挨拶をする」等の態度指導に重点を置いています。心が強くなり、最後には結果を残せ、「本気になって頑張れば目標は達成できる」ことを経験させてあげられるからです。もう一度富山県から全国制覇するチームが出て、県民の皆さまに元気を出して貰えることを目標に、今後も地道に活動を続けていきたいと思っています。



バレーボールを指導している様子

## 配電線の無電柱化

北陸電力は、国土交通省や地方公共団体等による「無電柱化協議会」に参画し、安全で快適な通行空間の確保や都市景観の向上、および地域活性化などをねらいとした配電線の無電柱化を推進しています。

1986年以降、商業地域や歴史的街並みの保全が必要な地区などで、関係者の協力のもと約169kmの無電柱化を実施しました。



金沢市(にし茶屋街)

## 富山駅北地区イルミネーション(駅北ルミエ)

毎年11月から2月の間に、富山駅北地区のにぎわい創出に賛同する企業と協力して、冬期イルミネーション「駅北ルミエ」を行っています。この期間、北電ビル前および向かいの歩道街路樹をLED電球で彩っています。



駅北ルミエ

## 産学官連携での活動

北陸電力では、北陸経済連合会内の「イノベーション推進事業部」等へ社員を派遣し、地域の先端技術等を活かした新産業の創出、育成に向け、産学官連携の強化に取り組んでいます。

また、技術開発研究所では、大学と共同で雷性状の把握・分析および系統解析に関する共同研究を行い、電力の安定供給に向けた技術開発に取り組んでいます。

### ■2010年度の大学との共同研究件名

大 学	研究件名
東京大学	FDTD法に用いる雷放電パラメータに関する研究
同志社大学	送変電設備の雷サージ現象の再現精度向上に関する研究
富山大学	電界観測による雷放電電荷量の把握に関する研究
福井大学	誘導機を含む系統負荷モデルに関する研究

## 冊子「北陸の優れた製品 輝く技術」を発行

北陸電力は、北陸経済連合会と連携して、北陸の産業力の高さを象徴する製品・技術を取りまとめた「HOKURIKU INNOVATION 北陸の優れた製品 輝く技術」を発行しました。

北陸には「シェア」では語りつくせない世界の最先端をいく製品・技術が数多くあることから、北陸三県の企業を対象に、「独創性」「先進性」「地場産業を基盤に高度発展」などの特徴を有する製品・技術を調査し取りまとめたものです。

北陸の地域および産業活性化のためのPR資料として活用しています。



## 教育支援

エネルギー・地球環境問題への正しい理解の促進や電気・科学に対する関心を養うことを目的に教育支援活動に取り組んでいます

### 出前講座

次世代を担う小中学生や高校生に、エネルギーや地球環境問題を身近なものとして捉え、正しい理解を深めていただくため、社員が講師として学校に出向く出前授業や、発電所などの見学会を実施しています。2010年度には出前授業を179回、見学会を83回実施し、あわせて延べ8,308名にご参加いただきました。



学校に社員が講師として出向く出前授業の様子

### 夏休み科学教室

毎年夏に8つの支店・支社で高学年の小学生を対象に「エネルギー・環境を学ぼう」「科学と親しもう」「友達をつくらう」をテーマとする「ほくでん夏休み科学教室」を実施しています。科学実験や工作教室を通じて、科学の楽しさを実感していただくとともに、施設見学やキャンプファイヤーなど子どもたちだけの1泊2日の共同生活を催し、夏休みの思い出づくりに努めています。



自転車発電体験の様子

## VOICE ステークホルダーの声



### 出前講座を受講して

本校は、学校名「**みにくみなみ**」にちなんだ以下の教育方針を掲げて、人材育成に取り組んでいます。内容は、「**みんなに元気なあいさつのできる子**」「**くるしさをのりこえて最後までがんばる子**」「**にこにこ笑顔で(外で)元気よく遊ぶ子**」「**みんなで考え、自分の考えをもって、正しい判断のできる子**」「**なかよくたすけあい、人の気持ちを考えられる子**」「**みずから進んで働く子**」です。

出前講座では、水力・火力・原子力・風力・太陽光など発電所で作られる電気について学びました。蒸気式タービンを使っての発電のしくみでは、圧力鍋などの身近なものを使い、水蒸気を作ってその力でタービンを回すというわかりやすい方法で説明され、子どもたちもよくわかったと思います。その後、手回し発電機で電球をともしたり、自転車のペダルをこいでテレビをつけたりする体験を通して、電気を起こすことの大変さを実感することができたと思います。

子どもたちは、電気分野で専門知識を持っている人たちと出会い、心に残る体験をして、新たな発見や出会いがあったと思います。様々なことを考える良い機会だったと感謝しております。

今後もエネルギー教育支援や様々な取組みをPRされ、充実されることを期待しております。

福井県坂井市立 三国南小学校 校長／谷川 辰夫さま



身近なものを使って発電のしくみを学ぶ様子



手回し発電機で電球をともす様子

## ■ (財)北陸電力教育振興財団の運営支援

北陸電力教育振興財団は、1981年の設立以来、北陸三県の高等学校に教育備品を寄贈しています。また、2005年度からは次代を担う高校生の方々の将来の夢や目標を定めるきっかけ作りとして、北陸地域においてさまざまな分野で活躍している方々を講師に迎え、自らの経験談などをご講演いただく「元氣創生塾」も開催しています。2010年度は10校にて実施し、好評を得ました。



元氣創生塾(高岡龍谷高校)

## ■ インターンシップ

学生の皆さんが職業観を養い、あわせて北陸電力グループの事業に関する理解を深めていただくことを目的に、インターンシップ\*を実施しています。北陸電力グループでは、2010年度には大学生・大学院生から高校生まで約200名の学生を受け入れました。



インターンシップの様子

## ■ 教育教材の提供・貸し出し

子どもたちが身近なエネルギーや環境に問題意識を持ち、自ら解決策を探していくための手助けとして、学校の授業などでお使いいただけるエネルギー教育用教材を無料で提供しているほか、実験教材キットを貸し出しています。

教材には、エネルギー授業プランが書かれた指導ガイドもセットになっています。



教育用テキストの一例

## ■ 北陸電力エネルギー科学館「ワンダー・ラボ」

エネルギー科学館「ワンダー・ラボ」は、エネルギーや科学の不思議を体験できる科学館です。スタッフや全国の実験名人たちによる楽しい「科学実験・工作教室」の開催や、展示物に触れながら電気が家庭に届くまでを楽しく学べる「エネルギー教室」の実施など、子どもたちのエネルギーや電気・科学に対する関心を喚起し、創造性豊かな科学する心を育むお手伝いをしています。



真空の実験の様子

## ■ 大学などへの講師派遣

北陸電力では、大学や工業高等専門学校へ、社員を講師として派遣しています。講義を通して電気や機械等に関する専門的な知識を深めていただくことにより、未来の技術者の育成支援を行っています。

## VOICE 従業員の声

### 大学講師を務めて

私は富山大学で機械安全工学の講師を務めました。原子力に限らず過去の様々な事故例をもとに、安全の達成のために用いられている深層防護の考え方に照らして事故の原因や対策を解説しています。



講義の準備や小テスト、レポートの採点は大変ですが、専門知識を活用していくために必要なことを学生達が学んでいくお手伝いになればと思っています。また、講義を通じて、専門知識をわかりやすく伝え理解してもらうことの重要性を再認識しています。

北陸電力 原子力部 / 高橋 敏彦

## コミュニケーション活動

地域の皆さまとのコミュニケーションの充実に努めています

### 「女性の会」支援

「環境とエネルギーを考えるとやま女性の会」と「石川エネの会」(かなざわ、のと、かが)では、女性の視点からエネルギーや地球環境問題について考えようと施設見学会や講演会、学習会などの活動を実施しています。北陸電力では、各会の運営のお手伝いをするとともに、会員の皆さまからのご意見・ご要望を事業活動に反映させています。



学習会(石川エネの会)

### アリス館志賀

「アリス館志賀」では、ご見学者をはじめ、季節にあわせたイベントの開催により、ご来館の皆さまとのコミュニケーションを大切にしています。

館内には、水墨画などの地元団体による作品展示のほか、芝生広場は憩いの場としてもご利用いただいています。

また、小学生を対象とした科学教室も開催し、科学する心を育む活動も実施しています。



小学生対象の科学教室(アリス館志賀)

### 花のミュージアム「フローリィ」

原子力発電所に隣接する石川県志賀町の「フローリィ」(仏語で“花がいっぱい”)は、地域と共生する発電所づくりのモデル事業として、国の交付金を受けて建設されました。

南欧風の建物と500種類を超える四季折々の草花に囲まれた庭園では、くつろぎと安らぎの空間を提供しています。

また、クラフトや園芸教室等各種イベントを開催したり、サークル活動の発表の場や保育園児の植栽体験会を開催するなど、地域共生施設として活用されています。



地元保育園児対象の植栽体験会(フローリィ)

## VOICE ステークホルダーの声



### 原子力やエネルギーについて一緒に考えていきたい

志賀町女性団体協議会では、年間行事の一環として、志賀原子力発電所の見学会を実施いたしました。実際に発電所内を見て、きれいで安全対策がきちんとされているなど感じました。ところが、今回の東日本大震災の発生による福島第一原子力発電所の事故をマスメディアで目にしたときには、大変な衝撃を受けました。



フローリィにて北陸電力地域社会部ふれあい担当と

北陸電力から、事故を踏まえた説明を聞きましたが、技術的な難しい言葉が多いため、繰り返し説明を聞くことが重要だと思いました。また、マスメディアを通して、初めて耳にする言葉があります。子供たちの教育カリキュラムの中に取り入れ、知識を増やすことも一つの手段だと思えます。この事故により、地域住民の原子力に対する関心は高まっています。これを契機に説明会を繰り返し行うことが肝要だと思えます。

志賀原子力発電所は、志賀町に存在します。安全対策をさらに強化し、協力会社と一体となって取り組んでいただき、安心して住める町であってほしいです。また、生まれ育ったこの志賀町が、子供たちにとっても誇れる町であってほしいと思えます。

北陸電力とは、これからもいろいろな活動を通して、双方向で学びあい、新たな発見をしていながら、信頼関係を大切にしていきたいと考えております。

志賀町女性団体協議会長 / 原 和子さま

## 情報公開

### 原子力発電所に関するさまざまな情報を積極的に公開しています

#### 国・県・市町村への情報公開

志賀原子力発電所の事故や故障などのトラブルについては、法令に基づいて国に報告するとともに、「安全協定」に基づき石川県および志賀町に報告しています。

また、法令や安全協定に該当しない事象についても、石川県および志賀町との間で「覚書」を締結し、連絡や公表を行っています。

#### ■連絡基準(概要)・実績

連絡区分		内容	実績 2003年7月～2011年3月
I	A	安全協定第9条(異常時における連絡)に該当するもの	●法令などに基づいて国に報告する事項と同一 13件
	B	安全協定第9条に該当しないもので、早急な連絡が必要なもの	●送電線への落雷などの影響(外的要因)で原子炉が停止したとき ●発電所の周辺地域で相当程度の地震を観測したときなど 13件
II		区分Iよりも緊急性の程度は低いが、速やかな連絡が必要なもの	●発電機出力が低下したとき ●原子炉運転中に主要な機器などに軽度な故障があったとき ●管理区域内で放射性物質が一定量以上漏えいしたときなど 27件
III		保守情報として連絡することが適当なもの	●原子炉停止中に主要な機器などに軽度な故障があったとき ●点検作業において放射性物質を含まない水が漏洩したときなど 63件
IV		特に連絡を要しないもの	●日常の保守作業 —

覚書の範囲

#### 地域の皆さまへの情報公開

志賀原子力発電所において事故やトラブルが発生した場合、プレスリリースなどにより速やかに公表しています。また、東日本大震災を踏まえた対策等についても対応状況等適切に公開しています。

そのほか、ホームページやミニコミ誌でも原子力情報をご提供するとともに、PR施設や支店に設置した原子力情報コーナーでは報告書などの関係図書をいつでも閲覧できるようにしています。

#### ■ミニコミ誌「えるふぶらざ」

管内のお客さま全戸に配布する「えるふぶらざ」は年4回発行しています。この「えるふぶらざ」を通じて原子力に関する情報などをわかりやすく発信しています。



えるふぶらざ

#### ■ホームページ

ホームページにおいて、東日本大震災を踏まえた対応状況や取組みを掲載し、また志賀原子力発電所構内と周辺において常時測定している放射線データ等についてもリアルタイムで表示しています。



ホームページ

#### ■「志賀町ケーブルテレビ」での情報提供

北陸電力提供番組(文字放送「北陸電力からのお知らせ」、映像放送「志賀原だより」)を通じて、原子力発電所の最新情報を地域の皆さまに速やかにわかりやすくお伝えするとともに、アリス館志賀等でのイベントなどの地域情報もお届けしています。



志賀町ケーブルテレビ「志賀原だより」

#### ■志賀原子力だより「ハマナスねっと」

原子力発電所が立地する志賀町において広報誌「ハマナスねっと」を年6回全戸に配布しています。志賀町でご活躍される方々をご紹介するとともに、原子力発電所情報や発電所に携わる北陸電力従業員からのメッセージなどをお伝えしています。重要な情報は臨時号を発行し、お知らせしています。



ハマナスねっと

## 原子力発電所の環境放射線のモニタリングと情報公開

原子力発電の運転によって周辺に放出される微量な放射線および放射性物質が、環境に影響のないことを確認する周辺環境モニタリングを行っています。

発電所周辺の敷地境界付近に7カ所のモニタリングポストを設置し、放射線レベルを常時測定、記録するとともに、中央制御室で集中監視を行っているほか、発電所周辺にモニタリングポイントを12カ所、そのほか金沢市と羽咋市にそれぞれ1カ所ずつ設置し、3か月ごとの積算線量を測定しています。また、発電所敷地内外の海水、土壌、農畜産物などを定期的に採取し、これらに含まれる放射性物質の分析・測定をしています。

環境モニタリングは、北陸電力のほか石川県でも実施しており、両者の測定結果を併せて、石川県環境放射線測定技術委員会で技術的に評価され、さらに石川県原子力環境安全管理協議会で確認・公表されています。

### 志賀原子力発電所周辺の環境放射線測定地点



## 国際協力

### 国際協力の一環としてアセアン協力事業を実施しています

アセアン諸国の電気事業者の具体的なニーズに基づいたきめ細かい民間協力を行うため、(社)海外電力調査会が主体となり、平成3年からアセアン協力事業を実施しております。毎年、「専門家を派遣しての現地セミナー」または「日本での研修生受入」を行っておりますが、2010年度はミャンマー国へ2名専門家を派遣し、現地で水力発電所(水路系)の設計等に関する現地セミナーを行いました。

## VOICE (従業員の声)

### ミャンマーで水力発電所の設計に係る講義を行って



アセアン諸国の電気事業に係る人材育成等を目的に(社)海外電力調査会が行っている現地セミナーの講師の一員として、ミャンマー国において水力発電所の設計に係る講義を行いました。講義や現地視察を通して、自国の設備を自分たちの手で開発したいという熱心さに刺激を受けるとともに、質疑応答において議論を重ねるうちに日本での固定概念のみにとらわれず幅広い視野を持って物事を考えることの大切さを再認識でき、自己成長に繋がる良い機会となりました。



現地セミナーの様子

北陸電力 土木部 建設チーム  
／高澤 英樹

## キャリア形成

従業員一人ひとりがやりがい・達成感を感じつつ、能力を伸長・発揮できる制度・仕組みを整備しています

### 従業員教育

新入社員研修、中堅社員研修、新任管理監督者研修などの階層別基本教育だけでなく、コンプライアンスやOJTに関する研修、国内外の大学や企業等へ派遣する派遣研修にも力を注いでいます。

また、各部門ごとの専門教育においては、電気事業遂行に必要な知識・技能等の向上に加え、法令教育の強化を図っています。

#### ■教育体系

層別	基本教育(階層別教育)
経営者層	・経営セミナー
管理監督者層	・特別管理職フォロー研修 ・新任特別管理職研修～特別管理職登用時～ ・管理能力向上研修 }～新任管理職登用時～ ・新任管理監督者研修
中堅層	・中堅社員研修
若年層	・ステップアップ研修～入社3年次～ ・新入社員フォロー研修～入社2年次～ ・新入社員研修
共通	・職能教育(専門教育)



新入社員研修

### 人事異動

キャリア開発について自己申告の仕組みを取り入れ、従業員の希望に配慮した適材適所の人事異動・配置を実施しています。

また、各人が使命感を持ち、激変する経営環境に立ち向かっていく企業風土づくりを目指す観点から、目標管理に基づく業績・成果を重視した人事評価・処遇を行っています。

### 公募制度

従業員の主体的なキャリア形成の支援と、チャレンジ精神・自主性の創造を促し、組織活性化を図るため、社内公募制度を実施しています。

### 女性の活躍推進

女性従業員が意欲を持って働くことができるよう女性の職域を拡大しており、営業・地域広報などの事務部門や運転・設計・保守などの技術部門で、多くの方が能力を発揮しています。



配電部門の女性従業員(富山支店)

### 「女性が輝く元気企業とやま賞」受賞

北陸電力は、富山県より平成22年度「女性が輝く元気企業とやま賞(富山県知事賞)」を受賞しました。

これは、女性の登用や能力開発に積極的で女性が職場でいきいきと活躍している企業を県が表彰しているものです。

北陸電力では、経営計画の策定や海外の取引先との交渉など会社の方向性を決定する主要な部門に女性を配属していることや、技術部門にも女性を採用し配属していることなどが評価され受賞につながりました。

**女性が輝く 元気企業とやま賞**  
平成22年度受賞企業のご紹介

**株式会社北陸銀行** (富山県/銀行業)  
活き活きとした働き手と働き手支援を設計、仕事と家庭の両立支援に取り組んでいられ、上社へのステップアップ支援や女性のための研修の充実などに取り組まれています。  
先駆女性のおひここと  
経営管理部 人事企画グループ  
吉田 陽子 (2009年入社、法人人事課長)  
仕事と家庭を両立させて、女性が輝く職場です。責任の重い新入社員研修から、職場の環境改善などによる、積極的な研修や職場でのメンター制度の導入などにより、女性従業員が活躍し、切磋琢磨しあっている。切磋琢磨しあっている。切磋琢磨しあっている。切磋琢磨しあっている。

**北陸電力株式会社** (富山県/電気事業業)  
女性リーダー層の育成を推進しているほか、女性の導入が容易な、技術部門への職域の拡大、育児休業制度、育児休暇制度の推進など、女性が活躍しやすい環境づくりに取り組まれています。  
先駆女性のおひここと  
経営企画部 経営計画・管理チーム 課長代理  
光地 富子 (1998年入社、経営者)  
私は、経営企画部で会社の中期経営計画や長期経営計画の策定に関わっています。これまで様々な業務を経験してきましたが、どの職種も挑戦や学習の機会が豊富です。これまでで最も印象的なのは、IT分野で海外市場の一角として会社の成長を担うためのIT分野での挑戦です。

**高岡信用金庫** (高岡市/金融業)  
17種類の女性管理職登用をすすめています。心ハート、節約社員が正社員へ移行する「キャリアアップ制度」を導入し、多くの女性がスキルアップしています。また、富山県に貢献するために、富山県にも女性を積極的に登用しています。  
先駆女性のおひここと  
総務室長  
西田 知佳 (2009年入社、経営者)  
窓口でお客様との対応と業務をしています。子供を出産し育児休暇をとった後、復帰しましたが、富山県に貢献するために富山県にも女性を積極的に登用しています。しかし富山県に貢献するために富山県にも女性を積極的に登用しています。

女性が輝く元気企業とやま賞パンフレット

## 働きやすい職場づくり

従業員一人ひとりが安心して働くことができるよう、さまざまな制度を整備し、働きやすい職場づくりを推進しています

### 育児・介護休業制度

子育てや介護が必要な従業員には、育児・介護休業制度を整備しています。特に、女性従業員が育児休業制度を活用する比率は、2010年度は100%となっています。

また、子育てや介護をしながら働き続けることができるよう、育児・介護短時間勤務制度や子の看護休暇制度、介護休暇制度を制定しています。

### 次世代育成支援

厚生労働省が進める少子化対策を受け、従業員が仕事と子育てを両立させ、能力を十分発揮できる活力ある働きやすい職場環境を作るための行動計画(2008～2010年度)を策定し、取り組みました。引き続き行動計画(2011～2012年度)を策定し、取り組んでいます。

## VOICE 従業員の声

### 育児休業制度を利用して

私はこれまで3度育児休業制度を利用し、第3子の際は2年間休業しました。幼いうちは通院することも多く、子供に十分な時間を充てることができ助かりました。また同年代の母親達と新たな交流ができたことも大きかったと思います。



現在は、育児短時間勤務制度を利用し、終業時間を1時間早めて保育園と児童館へ迎えに行っています。これも「そろそろ時間だよ」と両立を支援してくれる職場の方々のおかげです。私もこれからこの制度を利用する従業員が働きやすい環境となるよう心がけていきたいと思っています。

北陸電力 福井支店総務部業務運営チーム  
前田 恵美

### ボランティア休暇制度

地域社会活動などに参加する場合、ボランティア休暇制度があり、2010年度は62名の従業員が利用しています。

### 障がい者雇用

かねてより障がい者雇用を推進しており、2010年の障がい者雇用率は2.09%と、法定雇用率(1.80%)を達成しています。

### 高齢者雇用

従業員の希望により65歳まで安心して働くことができるよう、キャリア社員・シニアスタッフ制度(高齢者を対象とした選択型継続雇用制度)を導入し、これまで培ってきた豊富な経験や知識・技能を発揮していただける環境を整備しています。

### 人権問題への取り組み

1995年に設置した「人権啓発推進委員会」が中心となって、人権問題に関する事例研究や講演などを通じて人権に対する理解の浸透を図るとともに、グループ全社をあげて、人権尊重の観点に立った雇用、人事・労務管理に努め、差別のない風通しのよい企業風土づくりを推進しています。

### セクシャル・ハラスメント防止

社内に「セクハラ相談窓口」を設置し、北陸電力グループ大で相談員の研修会を実施するなど、セクシャル・ハラスメント防止のためのさまざまな啓発活動に努めています。

また、社外の「セクハラ相談センター」を活用し、安心して相談できる体制を整えています。

### 労働時間の適正管理

所属長の明確な業務指示の徹底による労働時間の適正管理と長時間労働の防止ならびに産業医の助言・指導などを踏まえた過重労働による健康障害防止に努めています。

長時間労働を抑制し、従業員の健康確保や仕事と生活の調和の取れた働き方の実現に向け、全社をあげて効率的な業務処理によるノー残業デーに取り組んでいます。

### 被災地でのボランティア活動

北陸電力は、富山・石川・福井の各県と連携して、東日本大震災で被災した岩手県や宮城県へボランティアを派遣しています。

参加者はボランティア休暇を取得し、現地で、「がれきの撤去」や「家屋の汚泥の除去」など行いました。

今後も各県と連携して順次ボランティアを派遣していく予定です。



災害ボランティアセンター集合の様子

## 安全衛生

「安全と健康はすべてに優先する」との基本的考え方にに基づき、安全衛生活動に取り組んでいます

### 安全衛生活動

北陸電力では、「安全と健康はすべてに優先する」との基本的考え方に基づいて安全衛生管理方針を策定し、従業員一人ひとりの安全確保と健康増進を目的に、「先取り安全と総合的健康管理の徹底による快適な職場づくり」を推進しています。2010年度は、下記の重点施策を掲げて作業・交通安全・自主健康づくりに取り組みました。

#### 安全衛生2010年度重点施策

1. 基本的災害防止対策
  - ・災害事例の周知と再発防止対策の水平展開の徹底
2. 従業員災害防止対策
  - ・危険に対する感受性を高めるための教育・訓練の推進
  - ・管理監督者等による的確な作業指示と安全指導の徹底
3. 交通災害防止対策
  - ・交通災害を防止するための各種運動等の徹底
  - ・私有車等通勤者に対する通勤経路の危険箇所の確認・指導
  - ・酒気帯び運転、著しい速度超過、その他危険運転の根絶
4. 請負者災害防止対策
  - ・請負者に対する安全指導の強化
  - ・現場責任者を交えた日々作業における安全対策の確認・指導
  - ・発注者パトロールによる安全管理状況の確認・指導
5. 委託集金検針人災害防止対策
  - ・委託集金検針人の更なる安全意識向上のための教育・指導の徹底
6. 公衆災害防止対策
  - ・広報活動の推進による感電災害防止の徹底
7. リスクアセスメントの推進
  - ・リスクアセスメントの着実な実施
8. 疾病予防対策
  - ・自ら取り組む生活習慣改善への支援
  - ・職場における心の健康づくりの推進
  - ・一般健康診断および特定(深夜・放射線)健康診断の的確な実施
  - ・新型インフルエンザ流行時の感染予防・拡大防止体制の継続・強化

### リスクアセスメントの実施

北陸電力では労働災害を防止するため、職場における危険性や有害性の調査と評価を実施し、優先順位をつけて対策を講じる仕組みとして、2009年度から技術系事業所においてリスクアセスメントを実施しており、良好事例については、社内への水平展開を図っています。

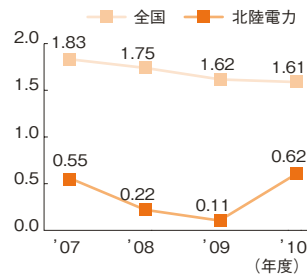


設備設計にリスクアセスメント結果を反映(荷台上部に安全帯を取付できる親綱を設置)

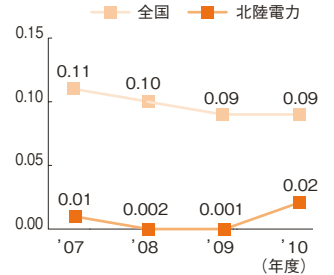
### 安全衛生指標

労働災害の状況を表す度数率<sup>\*</sup>、強度率<sup>\*</sup>は、全産業平均と比較し、低い水準で推移しています。

#### 度数率<sup>\*</sup>(不休を除く)



#### 強度率<sup>\*</sup>



<sup>\*</sup>全国は厚生労働省「労働災害動向調査」(暦年実績)

#### 業務上労働災害発生状況(北陸電力)

年度	2008年度	2009年度	2010年度
休業	2件	1件	6件
不休	3件	12件	10件

<sup>\*</sup>休業：労働災害により1日以上休業を取得した災害  
不休：休業などを伴わない災害

### 新型インフルエンザ対策

従業員等の健康確保と電力の安定供給確保に向けて、北陸電力が的確かつ迅速に対応できるように整備した「新型インフルエンザ対策行動計画」および各部門・事業所のマニュアルに基づき、新型インフルエンザ対策を徹底しています。

### 安全運転強化週間の実施

北陸電力では交通災害防止のため、春夏秋冬の年4回『安全運転強化週間』を設定し、「安全運転基本ルール・マナー項目の自己チェック」、「車両同乗訓練」などを実施しています。

また、職場毎に工夫した方策も実施しており、石川支店では(財)石川県交通安全協会の交通安全教育体験車「ぼっちい〜号」による体験訓練(運転・歩行能力診断、酒酔い体験ゴーグル歩行等)を実施しました。



「ぼっちい〜号」による体験訓練

### 用語解説

#### ●度数率

100万延べ実労働時間あたりの労働災害による死傷者数。

#### ●強度率

1000延べ実労働時間あたりの労働損失日数。

## 株主・投資家とのかかわり

会社説明会の実施や広報誌の発行などのIR※活動を通じ、情報開示と双方向コミュニケーションの充実に努めています

### 個人・法人向けIR活動

個人・法人株主の皆さまに北陸電力の事業活動へのご理解を深めていただくため、地元を中心に株主訪問活動を実施し、北陸電力の事業等についてご説明するとともに、ご意見を承っています。

また、個人投資家と証券会社の方を対象にした会社説明会の開催や、発電所施設の見学会も実施しており、2010年度は株主訪問を723件、施設見学会を5回(参加者182名)行いました。

このほか、広報誌「北電」やデータ集「ファクトブック」の発行、ホームページ掲載などの情報提供を行い、親しみやすくわかりやすいIR活動に努めています。



株主の方を対象とした施設見学会

### 株主総会

株主総会では、事業報告ならびに計算書類の要点を大型スクリーンに表示するなど、わかりやすい説明に努めています。



株主総会

### 安定配当の継続

配当方針については、安定配当の継続により、株主の皆さまのご期待にお応えしていくことを基本としています。

## 取引先の皆さまとのかかわり

相互信頼関係を築きながら、公正・公平な調達活動に取り組んでいます

### 公正・公平な調達活動

調達活動にあたっては、法令・社会規範の遵守や安全の最優先等の「調達の基本方針」のもと、優れた品質の物品・工事等を適正な価格で調達することとしています。

今後も、ビジネスパートナーである取引先の皆さまと相互に信頼関係を築きながら、公正・公平な調達活動に取り組めます。

#### 用語解説 ●IR

Investor Relationsの略で、企業が株主・投資家に対して、投資判断に必要な企業情報を適時・公平に提供する活動をいう。

#### ●モーニングスター社会的責任投資株価指数(MS-SRI)

モーニングスター株式会社が国内上場企業の中から社会性に優れた企業と評価する150社を選定し、その株価を指数化した国内初の社会的責任投資株価指数。

### 機関投資家向けIR活動

機関投資家やアナリストに対し、経営方針や決算の状況等について、経営トップ層と率直な意見交換を行う会社説明会の開催や、積極的な訪問活動等を行い、北陸電力の事業活動へのご理解を深めていただくとともに、魅力をアピールしています。



会社説明会

#### ■機関投資家・アナリスト向けIR活動実績

	会社説明会	来社・訪問
2008年度	2回	69件
2009年度	2回	48件
2010年度	2回	41件

### 株主価値の向上を目指した自己株式取得・消却

2010年度には、496万株を取得し、1,000万株を消却しており、発行済株式総数は2億1,033万株となっております。

### SRI(社会的責任投資)

北陸電力は、モーニングスター株式会社の「社会的責任投資株価指数(MS-SRI)※」の構成銘柄に採用されています。



モーニングスター社会的責任投資株価指数

#### ■調達の基本方針

- 1 法令・社会規範の遵守
- 2 安全の最優先
- 3 環境への配慮
- 4 公正・公平な調達
- 5 相互信頼(パートナーシップ)の確立
- 6 地域社会への貢献